

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	令和4年度清須市男女共同参画推進懇話会
開催日時	令和5年2月14日（火） 午前10時～11時20分
開催場所	市役所北館2階 第1・第2会議室
会議概要	1 あいさつ 2 議題 議題1 男女共同参画各課の取組の評価について 3 その他
会議資料	会議次第 別添1 清須市男女共同参画推進懇話会委員名簿 資料1 清須市男女共同参画プラン施策体系一覧表 資料2 清須市男女共同参画プラン施策体系図進捗状況 参考資料 清須市男女共同参画プラン数値目標進捗管理
傍聴人の数	0人
出席委員	吉田委員、野呂委員、河合委員、堀田委員、日下部委員、丸山委員、山本委員、高谷委員
欠席委員	和田委員
出席者（市）	天埜教育長、加藤教育部長
事務局	（生涯学習課） 浅野課長、藤田課長補佐、鈴木係長、森下主事、武田主事
会議の経過	<p>1 開会</p> <p>定刻となりましたので、只今より「令和4年度清須市男女共同参画推進懇話会」を始めさせていただきます。</p> <p>清須市男女共同参画推進懇話会設置要綱第5条第3項の規定により、「懇話会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない」となっております。本日、委員10名中8名の出席でございます。過半数の出席となりますので、懇話会は成立いたします。</p> <p>また、本日は、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱第3条の規定により公開会議となっておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>吉田会長、天埜教育長よりあいさつ</p>

3 議題

議題1 男女共同参画各課の取組の評価について

○吉田会長

それでは、次第2. 議題(1)「男女共同参画各課の取組の評価」についてです。事務局の説明をお願いします。

●事務局

はじめに、今回の令和4年度清須市男女共同参画推進懇話会について説明いたします。例年ですと2回開催しております。1回目の懇話会については、9月前後に開催し、各課で決めた目標値等について、議題に上げ、議論していただいております。本年度は、諸事情により、事務スケジュールが調整できず、第1回の懇話会の開催の機会を逸しておりました。大変申し訳ございません。来年度は例年通り滞りのないよう、開催いたします。よろしく願いいたします。

それでは、評価の説明に入ります。

(資料1「清須市男女共同参画プラン施策体系一覧表」に基づき説明)

(資料2「清須市男女共同参画プラン【施策体系図】進捗状況」に基づき説明)

○吉田会長

委員の皆様、何か気になる点・箇所があれば、質問のある方、挙手をお願いします。

○吉田会長

来年度は、事前に資料をお送りいただき、情報をいただけるとありがたいです。

参考資料について、目標値が妥当か検討するうえで、比率を出していただけないでしょうか。

また、清須市ごみ減量化等推進委員会の「考え方」について、「令和3年度委員の半数以上が女性であり、今後も委員会の男女比率を維持するため」とありますが、女性の比率を抑えるという意味で了解していいのでしょうか。

●事務局

担当課が不在のため、会議録とともに回答いたします。(別紙参照)

比率で出せるところは、次回から比率で出すようにいたします。

○吉田会長

資料2、2ページ目、施策2、施策方向2について、「達成」の評価で「講演会を企画運営できた。また、実行委員会を通して周知を行い、153名の参加があった」とあるが、懇話会委員への周知はありませんでした。また、153名の参加人数が適正かわかりません。

●事務局

コロナ禍ということもあり、積極的にお知らせはしませんでした。来年度は、コロナ禍でどれくらいの人数を呼ぶことができるかを考え、適正人数を設定したうえで、取り組みに対する評価をしていきたいと思えます。

●事務局

153名の参加人数が適正かどうかについて説明いたします。令和2年度、令和3年度につきましては、コロナによって中止とさせていただいております。平成31年度は184名、平成30年度は147名、会場は市民センターで行い、会場の定員としては370名ほどです。その中で153名というのが、コロナ禍ということもあり、積極的にお知らせしなかったにもかかわらず、たくさんの方に来ていただいた、という感想を持っております。

○吉田会長

そうしますと、153名は適正人数ではありますが、「周知を行い」という部分を「コロナ禍で十分な周知ができなかった」という内容で評価理由に入れていただけますと割と納得がいく話なのかなというふうに思えますので、そのあたりのご検討をいただけるといいかなと思えます。

●事務局

承知いたしました。

○吉田会長

資料2、7ページ目、施策2、施策方向1について、令和4年度の予定・計画に「男女双方の視点が必要であることを啓発していく」とあるが、女性の参加の大切さを周知できたことは良いかと思えますが、セクシャルマイノリティの方々への対応も丁寧に議論していく必要があることを考えますと、センシティブになって書いていただいた方がいいかな、と思えます。悪気はなかったではもう済まされない時代です。今ではLGBTQからLGBTQプラスに変わり、また、LGBTQプラスという言い方が、非常に差別的でよろしくない、ということも議論にあり、SOGIやSOGIEという言い方をすべきではないかということも言われている、今日この頃ではございますので、表現に注意した方がいい、という気づきでございます。

○吉田会長

資料2、10ページ目、施策1、施策方向4について、取り組みに「在住外国人女性に対する情報提供や相談支援を充実します」とあるが、こちらも同様に差別に繋がりがねない言葉遣いのため、心配だなと感じました。そういったところまで配慮して、いろいろとご検討いただければいいかなというところでございます。

○吉田会長

資料2、14ページ目、施策1、施策方向2について、デートDVに関する出前講座の実施する流れを教えてください。施設への案内など積極的に働きかけを行っているのでしょうか。講座の講師はどなたがお勤めになりますか。中学は対象ではないのはなぜでしょうか。違う方向から働きかけを行っているのですか。大学からの講座要請とはどういうことでしょうか。

●事務局

担当課が不在のため、会議録とともに回答いたします。(別紙参照)

4 その他

○吉田会長

続きまして、次第3、その他について、事務局から何かありましたら、よろしく願いいたします。

●事務局

特にありません。

○吉田会長

全体を通して、ご意見、ご質問がありましたら、挙手をお願いします。質問等もないようですし、せっかくの機会ですから、委員の方に感想をいただきたいと思えます。

○河合委員

男女共同参画とは、関わりのないことで、お許しをいただきたいと思えます。まず一つ目ですが、懇話会の委員の皆さんも、各委員会に所属をしてお見えですが、同じ悩みとして、会員さんがなかなか増えないことや、運営面や資金面でご苦労されていることです。役員さんが身銭を切って、会議の運営をしておるといようなことはあってはなりません。

行政改革大賛成ですが、各会の補助金なり委託金を減らすということだけは、一つ、行政努力で避けていただきたいということをお願いをさせていただきたいです。

二つ目ですが、会員数が減っていくということに対しては、それぞれの会員に対して指導助言をして、会がますます発展していくような、側面的な援助を一つよろしくをお願いします。

三つ目ですが、話題が変わりまして、各地域には、登下校時の小中学校の児童生徒を見守る、ボランティアの方の見守り隊というものがあります。ボランティアの人たちは本当にちょっとした気遣いで、大変意を強くするということがあります。好きでやっとなるんじゃないぞ、という苦言を私もよく耳にしますが、ある時、パトカーの助手席の人が「見守り隊の皆さん、ご苦労さまです、よろしくをお願いします」と声掛けをして通り過ぎました。見守り隊の皆さんは、

大変気を良くされて、もう少し頑張るわと言っておりました。私は、警察所長に、すぐそのことを電話をしてお礼を言いました。

見守り隊の皆さんは、日々、子供と接しており、子供の顔を見れば大体わかると言います。つい先日も、見守り隊の皆さんが、ボランティアを行っているのは、別にお金や物が欲しいわけではなく、例えば、子供たちの成長ぶりを見られるような運動会などの観覧の話をいただけたら是非見に行きたい、と言ってみえました。

また、年度の始まりや終わりに、この1年間の目標、反省ということで、見守り隊の皆さん、学校関係者、生徒指導者も含めて、意見交換会など簡単短くていいから開催してくれないだろうか、という思いを吐露されたのがつい一昨日でした。

ボランティアの方にひとつ気を遣ってやっていただく、心やさしい行政であって欲しいということを私はお願いをさせていただきます。

○日下部委員

どの部署の方も、お仕事忙しい中でいろいろ取り組みをしていただいて、大変ご苦労さまでしたということをお申し上げます。

○山本委員

まずは、本当に清須市でこんなにたくさんの取り組みを行っているということに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

少し感想だけお話をさせていただきますと、学校では人権教育の講話などを、学校で行っています。そして、今年度から男女混合名簿も始めております。

無意識のうちの偏見という言葉がありましたけれど、今までは男女別の名簿で男子が先、女子が後、また、委員会の男女の数を決めている、あと児童会生徒会も、会長、副会長、男子何人女子何人と、そのような男女の意識をしないうちに、もしかしたら子供たちに意識付けをしてしまっていたのかな、ということをおもいました。

一人ひとり子供たちには個性があります。個性を大切に認め合っていく、そういったことが自然と学校生活の中でできるように、まだまだ学校でもできることはあるのかなと感じました。

○吉田会長

男女混合名簿になったことは、実はスタートであって、ゴールではないと思うんです。数年前に、ある市で混合名簿にしたらどうでしょう、というお話をした時の校長先生の反応が、残念に思いました。何とおっしゃったかというと、混合名簿にしてもいいけど、今どきの子供たちは名前だけでは男女の判断ができないと。男女区別をしないために、混合名簿にするのであって、それこそ昔のように、太郎と花子だから混合名簿にしても同じ、とおっしゃるのであれば

話はわかります。名簿から性別を読み取れないのであれば、それこそ混合名簿にする意味なので是非ともご検討ください、と申し上げました。

混合名簿にする意味には、先生方の中にも無意識の偏見があって、男なのにはっきりしないな、というような性別にとらわれた指導になりがちで、そのようなことを避けられるからこそ混合名簿にしましょう、という話なんですけれども、なかなかそこまでご理解いただけてなかったりすることもあるかと思います。清須市は混合名簿にしたということで、まさにそういう意味では、山本委員が今おっしゃったように個性を尊重して、というところのスタートだというふうに思いますので、子供たちの学びがジェンダー平等なものになっていってくれるといいなあとと思います。まずはスタートがきれたんだな、ということ今日伺うことができ、よかったなというふうに思っております。

○高谷委員

清須市の各課の方々が、様々なことを取り組んでいるということ、初めて見させていただいて、私も学んでいきたいなと思っております。

○吉田会長

先ほどのお話もそうなんです、やはり子供たちの教育のところがすごく大事で、小中学校もそうですけれども、未就学児に対しても、ジェンダーの押し付けをしないように、個性を尊重する形で子供たちの保育に当たっていただく、というのは大事なところかなと思います。都市部では、絵本などもジェンダー平等を意識させるようなものを検討されたりしていますので、先生方におかれましても、そういったことを気にしていただけると良いのかなと思います。

○丸山委員

母子寡婦会と名乗っていますので、今のところは、男性、子供は入っていません。今後は、父子の方々も入れるように検討しております。

○吉田会長

法律等でも今までは母子に限るものも、父子まで広げてきているところがありますから、是非ご検討いただきたいと思います。

○堀田委員

女性の会に参加している若い人から、今どきといいますか、この男女平等と世間でも言われているときに、女性の会という名称でいいのかという意見があります。また、会員の高齢化もあり、会員数も減っています。

若い方は、共働きが多く、会に所属することはなかなか難しいということもあり、会員数が本当に増えません。

会の方は皆さん一生懸命やられるんですが、高齢もあり行事に参加できないことが多くなってきています。会員数もこれから減っていくと思います。これ

からの課題は、若い人たちをどのようにして巻き込んでいき取り込み、会を盛り上げていくかです。

今の若い人達は自分たちで何でもできてしまうからこそ、会などに所属する必要がない、という感じがあります。会に所属することでメリットがあることを発信していかないといけないと思いますが、どのようにしたらいいのか、というのが今一番悩んでいます。

○吉田会長

もともとは「婦人会」という名称で、それが「女性の会」になったときには、良かったが、今ではどうなんだろう、というところです。

女性の会の目的は何なんだろう、と考えたときに、ジェンダー平等な世の中になっているんだとすれば、ある意味で役割を終えました、と発展的に解消することもあると思うんですが、まだまだ女性がゆえの差別は残っている段階では、女性の会の存在意義はあると思います。

ただ、存在意義はあるとしても、現実の問題で、運営ができないことや、人が集まらないことがあり、それはやはり女性の会自身が婦人会の頃からただ働きをベースにして設定されているので、若い人たちが入ってこないというのは、結婚をしても、共働きだとしても、ワークライフバランスをとりながら地域と仕事の両立ができる、というところが必要なのかなと思います。しかし、現実はなかなか難しく、そうは言っても以前に比べれば有給休暇も取りやすくなったりしているので、趣味を頑張ってる人もいらっしゃるので、会を魅力あるものにしていかないといけない、ということもあるでしょうし、一方では有給休暇があるとは言っても、非正規の方々はそのなにと取得することができない、というような問題もあったりするわけです。

そうなれば、開催時刻を夜にするとか、或いは土日を使うとか、今までとは違う様々な工夫をこらしたやり方も検討されていく必要があるのかな、と思います。

○野呂委員

えみの会は、男女共同参画を20年続けてきました。行政の方々の発表を聞き、熱心にいろいろ取り組みを行っていただいていることを知り、うれしく思っております。

えみの会は、市民の方々に男女共同参画のことを気づいてもらう、そのような場面を作ろうということで、今年度は、川柳でポスターを作ったり、男女共同参画講演会の際には、皆さんにアンケートを取りたい、ということで、シールアンケートという形で参加させていただきました。

皆さんの意識があることも感じることができました。またシールアンケートの他にも、直接お声を聞きたい、ということで、男女共同参画のワークショッ

プも開催いたしました。多数の方に参加していただき、皆さんの意見について皆さんで話し合い、最後に振り返りシートを記入してもらいました。とても楽しく参加できました、とたくさん感想をいただきました。

また、次年度についても、男女共同参画の日常の気づきをテーマに、皆さんとお話ができたらと考えております。

○吉田会長

ありがとうございました。本日の懇話会はこれで終了いたします。長時間にわたり、ご審議ありがとうございました。

●事務局

吉田会長ありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましても、熱心なお言葉をいただきまして、ありがとうございました。

令和5年度の開催については、今回の懇話会の反省点を活かして資料を整理し開催したいと思います。

以上をもちまして、令和4年度清須市男女共同参画推進懇話会を終了させていただきます。

閉会（ 午前11時20分 閉会 ）

問 い 合 わ せ 先

教育委員会生涯学習課

052-400-2911